

[市民活動センターニュース]

Ren Ren

ねやがわ

連・連

発行：寝屋川市立市民活動センター 〒572-0848 寝屋川市秦町41-1

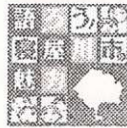
Tel.072-812-1116 Fax.072-812-1118 E-Mail.smkd-center@orion.ocn.ne.jp

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~katudo/>

聞いて・見て・学んで…そして楽しんだ

「みんなのまち基本条例」施行記念

ふれあいフェスタ



10月5日(日)寝屋川市立市民会館で「ふれあいフェスタ」が開かれました。これは「ふれあいフェスタ実行委員会」と「みんなのまち基本条例」施行を記念して〔寝屋川市および(財)自治総合センター〕との協働開催で、大ホールでの「語ろう!寝屋川市の魅力」をはじめ、小ホールや4階の市民活動センターの催しにたくさんの市民が参加しました。(2面に関連記事)

「語ろう!寝屋川市の魅力」をテーマに4人の話し手によって寝屋川への熱い思いが語られました
市民会館大ホール



「ふれあいフェスタ」を市と協働で取り組むのははじめてのことで多少の戸惑いもありましたが、実行委員や関係各位の理解と協力のもと成功裏に終わることができました。

官民協働の布石として

実行委員長 中川 雄二

この「ふれあいフェスタ」がこれからの官民協働の布石となればさいわいです。

開会のあいさつをする
中川実行委員長
小ホール



たくさんの人出に自転車整理のスタッフも大変=大ホール前自転車置き場 ↓



アンパンマンやドキンちゃんも加わってちびっ子たちは大喜び。パザーや模擬店も大盛況=大ホール前



大ホール・小ホールともに 盛りだくさんのプログラム

～寢屋川の魅力を満喫～

市民活動センター所属の団体による15のブースが並ぶバザー・模擬店会場（大ホール前）には10時の開会と同時にたくさんの方が集まってきました。

また、小ホールでは開会式に続いて10団体の舞台発表があり、4階では活動団体のパネル展示・ロボットパフォーマンス・鉄道模型の運転などがありました。

午後からは大ホールで「みんなが好きな

「語ろう！寝屋川市の魅力」
～クロストーク話者～

山本シュウ氏（ラジオDJ）
橋爪 紳也氏（大阪府立大学特別教授）
橋本 通代氏（スノーボードオリンピック代表選手）
古賀 裕子氏（市民）

る寝屋川市のつくりかた」と題して大阪府立大学特別教授の橋爪紳也さんによる基調講演。歌の時間、トークショーにつづいて「語ろう！寝屋川市の魅力」をテーマにクロストークがはじまり、ラジオDJ 山本シュウさんの進行によって、寝屋川市の文化や川のことなど多岐にわたる魅力が語られました。

最後は、橋下 徹 大阪府知事の大阪に対する熱い思いを聞くことができました。



梅が丘小5年生による「梅小ソーラン」には会場中がその迫りに圧倒されていました＝小ホール



スタッフの説明を受けながら、鉄道模型を楽しむちびっ子たち＝4階 ↑



府立工専の学生と一緒にロボットを楽しむ小学生「ボクも大きくなったら、お兄ちゃんみたいにかっこよくロボットを作るんだ」＝4階 ←

人々が集まって、世間話に情報交換。ここでも交流が広がります＝4階展示場 ↓



参加者から：

- チラシを見て来ましたが、いろいろ楽しむことができました。模擬店で買い物したり、キーマカレーはおいしかった。(40代女性)
- 大ホールでの松本隆博さんのトークは本音が聞けておもしろかった。クロストークは

- 山本シュウさんの意外性に興味が。(60代男性)
- ロボットが動いたのでびっくりした。ズーとロボットと一緒にいたかった。(小4男児)
- 市内でこんなにたくさんの団体が活動しているのですね。私も参加してみたい。(50代女性)

登録団体紹介

寝屋川市市民活動センターには163団体が登録して、市の内外で活動しています。今回は3団体をご紹介します。

食育くらぶ

日本人の食事を栄養素摂取量や食品摂取量の面から考えると大きな問題点はないものの、個人レベルでは個人差が大きく偏りのある食生活をしている人も多い。朝食の欠食、不規則な食事、高齢者の低栄養、若年女性のやせの増加、成人男性の肥満の増加、生活習慣病の増加、また、食料自給率の低下や食の安全など食生活に関連する課題が多く残されています。

これらの課題の改善に取組み、健康なまちづくりの大切さを伝えるための活動をしています。栄養士、調理師、家庭菜園者、食品生産者、学生、食に関心のある方、食べることが大好きな方の参加をお待ちしています。(年齢・性別不問)

代表:吉岡 072-822-9889(午後7時以降)
または 090-3994-4478

みんなでつくる学校とれぶんか

今年で6年目を迎えました。寝屋川・枚方を中心に大阪全域で活動をしているフリースクールです。4つの世代(①おじいさん・おばあさん②おじさん・おばさん③若者たち④子どもたち)で4つのテーマ(①福祉②平和③人権④環境)をさまざまな体験型プログラムで共に学び合っていきます。

「不登校」「引きこもり」「ニート」「障害児・者の進路・生活」等の問題にも取りくみ、彼らのほっとできる居場所づくりをしてきました。子どもたちや若者たちの夢や憧れにつながる取りくみの中から音楽部・演劇部・子ども劇団・とれぶんカフェ・ふれあいマップ隊などさまざまな専門部が誕生しました。

1月10日午後2時からバリアフリーコンサートを開催します。子どもや若者たちのために力をかしてください。

代表:中川 090-4289-5317

ベラ・ムジカコンサート
パリアーソの谷川賢作さん
(ピアノ)・続木力さん
(ハーモニカ)



[ベラ・ムジカ]はイタリア語で「美しい音楽」という意味で、本物の音楽を多くの方々提供したいという目的で作られた女性4人のグループです。

これまで可能な限り寝屋川市内で開催するというこにこだわりつつ、詩人の谷川俊太郎・フォークの神様 小室等・ジ

ベラ・ムジカ

ジャズピアニストの谷川賢作・ハーモニカの続木力、そして、左手のピアニスト 智内威雄・サンポーニャの瀬木貴将、といったアーティストを招くとともに、若いアーティストを応援したいという思いで、ピアノの佐山こうた・坂野雄亮・ハーモニカとギターデュオのミタタケなどのコンサートを開催してきました。

質の高い音楽を通じて文化についても考えていきたいと思っています。

代表:藤波 072-833-1103

活動あれこれ

市民活動交流会

毎月第2木曜日(午後1時30分～午後3時)市民会館第11会議室で開いています。

参加は当日直接お越しください。参加無料。(但し、お茶菓子代100円要)

.....交流会のこれから.....

○1月 8日(木)

○2月12日(木)

○3月12日(木)

.....交流会のこれまで.....

◆10月 9日:参加13人

主な話題 ・寝屋川市総合計画について

◆11月13日:参加10人

主な話題 ・まちの美化について

・文化のまちづくりについて

◆12月11日:参加9人

主な話題 ・アドプトロードプログラムについて

・介護支援について

NPOなんでも相談

毎月第3水曜日(午後2時～午後4時)市民活動センターで開いています。

税理士・行政書士が隔月に交代で相談に当たっています。相談日2日前までに要予約。無料。

.....相談のこれから.....

○1月21日 ○2月18日 ○3月18日

.....相談のこれまで.....

◆12月17日(1件)

・NPO法人の会計処理について

市民活動センターでは、市民活動にかかわる多くの講座や交流会を開いています。～詳しくは市民活動センターまでお問い合わせください～

市民活動講座

.....講座のこれまで.....

市内で活躍する市民活動団体の話を聞いて元気とヒントをいただくため開催しています。

◆第3回 10月14日(火) 参加者20人

中里裕美さん・帝塚山大学非常勤講師による「地域通貨げんきの体験セミナー～市民相互の助け合い活動の一層の広がり～」

参加者の声:寝屋川市の地域通貨「げんき」の一層の活用をはかり街の活性化や市民活動の振興につなげていく必要性を感じた。

◆第4回 10月28日(火) 参加者40人

成宮健二さん・元気体操グループ代表による「高齢者の健康づくりを目指した体操」

参加者の声:約10年間毎朝ラジオ体操を実施している継続の大切さと、デミングサークル(Pプラン、Dドウ、Cチェック、Aアクション)により、団体運営をしておられることが参考になった。



講師から「高齢者の健康づくり」について詳しい説明がありました

みなさん(昨年の体験教室)食材(大根1本)を使いきるエコッキングを体験する



市民活動体験教室を開きます

協力団体募集中

市民活動団体間の交流や市民活動に興味のある方、地域デビューを考えている方の参考のために開きます。ご協力いただける市民活動団体を募集します。

○3月に実施していただける3団体。

多数の時は選考します。

市民活動体験教室実施申請書(市民活動センターにあります)を1月31日(土)までに提出してください。

準備経費として5,000円を支給します。

企業・NPO交流会

企業・NPO（市民活動団体）が交流と情報交換をし、協働したまちづくりを考えるために開きます。

○2月8日(日) 午後2時～午後4時

市民会館4階研修室

参加の企業・NPOは、1月31日(土)までに市民活動センターまで申し込んでください。

参加無料。



コミュニティビジネス入門講座

地域の諸課題をビジネスの手法によってその解決をはかる「コミュニティ・ビジネス」について考えるため開いています。

.....講座のこれから.....

○1月24日(土) 午後2時～午後3時30分

市民会館4階研修室

参加無料 交流会参加者は茶菓子代500円必要。

テーマ「コミュニティビジネスの現状とこれからのあり方」

講師 法橋 聡さん(近畿労働金庫地域共生推進室長)

.....講座のこれまで.....

◆11月23日(土) 参加者31人

森綾子さん(宝塚NPOセンター理事兼事務局長)による「コミュニティ・ビジネスとは～地域を活かす仕組みづくり～」

参加者の声：ニュービジネスの着眼点を理解することができた。



コミュニティビジネスについての講演に聞き入る参加者。

講師からの成功事例に◆「成功には、発想と十分な準備が必要かな」◆「地域での需要を考えると、アイデアは出てくるのですが・・・」

ボランティアのつどい

市民活動センターと社会福祉協議会ボランティアセンター登録ボランティアグループとの情報交換、交流のため開きました。

11月27日(木) 参加者52人

グループディスカッションテーマ「有償活動と無償活動って？」

参加者の声：

- ボランティアの「有償・無償」にかかわらず、これからの活動が自己確立のためのものにしていきたい。
- とともに理解を深めて活動が活発になればいい。
- 楽しく交わられて意見を交わらせて、多くを学ぶことができた。
- 「有料・無料」「有償・無償」の違いが理解できた。



10のグループに分かれて情報交換と「有償・無償」についてのディスカッション。その後、各グループから検討内容についての発表と続いた。模造紙上に整理して発表する参加者＝市立総合センター 第2・3研修室

掲示板

平成21年度地球環境基金助成金

○対象活動について

- (1)国内に主たる事務所を有する民間団体による開発途上地域における環境の保全を図るための活動。
- (2)海外に主たる事務所を有する民間団体による開発途上地域における環境の保全を図るための活動。
- (3)国内に主たる事務所を有する民間団体による国内における環境の保全を図るための活動。

*当基金以外の国又は国の機関から補助・助成等を受ける活動等は除かれます。

○対象団体について

- (1)財団法人若しくは社団法人、一般社団法人若しくは一般財団法人(公益社団法人若しくは公益財団法人を含む)又はこれに準ずる非営利法人((2)に該当するものは除く)
- (2)特定非営利活動法人
- (3)法人格を有していない民間団体で一定の要件を満たすもの。

○対象となる活動の期間 平成21年4月1日～平成22年3月31日

○募集期間 平成21年1月5日(月)～平成21年1月26日(月)必着 持込は午後6時まで。

○申込・問い合わせ 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部地球環境基金課
 TEL 044-520-9501
 E-mail : c-kikin@erca.go.jp
 URL : <http://www.erca.go.jp/jfge/>

ボランティア活動に必要な物品を支援

○対象団体 寝屋川市内を中心に活動し、原則として5人以上の会員で活動している、または、これから継続して活動しようとしている団体。(市から補助金などを受けている団体は除く)

○申請書 市民活動センターと寝屋川市市民活動振興室で配布(1月13日頃から配布予定)
詳細については、市広報1月15日号に掲載

○問合せ先 寝屋川市市民活動振興室 TEL824-1181 内線2966・2967

編集後記

事務局を中心に3人の担当者で取り組んでいる「編集部会」も新しい年を迎えました。
 今年も確かな情報を受信し、発信できる部会でありたいと思います。

本紙「連・連」をとおして、皆さんの活動をお伝えしつつ、団体間の「連なり」の幾久しいことを心から願っています。(智)



寝屋川市立市民活動センター利用案内

開館時間 9:00～21:00

(日曜祝日は9:00～17:30)

休館日 毎月第2月曜日および12/29～1/3

TEL:072-812-1116 FAX:072-812-1118

E-mail smkd-center@orion.ocn.ne.jp